

こどもエコクラブ、野川の水生生物探検 50cmのナマズを捕獲

午前10時、集合場所の中島橋には、本日の参加予定者全員が集合。強い日差しを避け橋の下で、小池講師から注意事項の説明を受け活動場所に向け出発。活動場所は600メートル程上流で、神代植物公園水生植物園からの用水が合流する、比較的水量の豊かな地点です。10分程で活動場所に到着。講師が川に入り、網の使い方を講習し、いよいよ待望の水生生物採取の始まりです。



参加者の多くは小学校低学年が中心で、同行のお父さんやお母さんと一緒に川へ入り、夢中になって網で川底をすくっています。活動を始めてまもなく男の子が50センチを超えるナマズを捕獲、持参したバケツには入りきれないほどの大物に、みんなもビックリ。講師によると、このナマズ推定年齢は8歳とか。サポーターの方が野川の水温を測定すると36とぬるま湯並、一方用水の合流部分は28とその差は何と8もありました。

午前11時半、それぞれが採取した生物を持ち寄り、透明なサンプルケースに入れて講師から説明を受けました。この日見つけることができた生物は、コイ、フナ、クチボソ、メダカ、アメリカザリガニ、ミナミヌマエビ、アメンボ、ヒラタドロムシ、カマトトビケラ、カワニナ、めずらしい生物としてマシジミやカメムシの仲間のタイコウチも採取することができました。

参加者は一様に、野川にこんなに多くの生き物がすんでいることに驚いた様子で、あるお母さんは「野川の生き物を通じて、身近な自然に親しめ、よりよい環境づくりを考えるいい機会になりました」と語ってくれました。



調布の自然 生き物編 その5

雑木林の蝶 ゴマダラチョウとオオムラサキ

雑木林の蝶といえばオオムラサキ。日本で一番大きなタテハチョウだ。成虫は年に一回初夏に現れ、クヌギやコナラなどの樹液を吸う。幼虫はエノキの葉を食べ、冬になると落ち葉の間で冬越する。だが、調布には1970年代以降記録がない。

オオムラサキの親戚筋にゴマダラチョウがいる。オオムラサキに餌も習性も似ているが、こちらは夏の終わりにもう一度現れる。今でもかに山やへび山の雑木林にいるはずだ。ところで、右の写真は練馬区の住宅地の、とある民家（じつは筆者の実家）の鉄柵にあったゴマダラチョウの蛹の羽化殻である。つまりこの種は、人家の庭先にエノキが一本あれば何とか生きていく逞しさを持っている。換言すれば、ゴマダラチョウがいるからといってその場所の自然が豊かとは言えないのだ。調布の雑木林も、オオムラサキが復活してこそホンモノといえるのではないか。そんな日がいつか来ることを願って止まない。



入間・樹林の会

ヤマユリが気高く



7月11日、参加者12名が方形枠調査と階段の補修作業を行いました。講師の根本さんが和歌山からかけつけ5・6月に行った西側樹林地の笹刈りの状況をまず確認することから始まりました。今年は初夏に笹刈りを行ったが今後斜面地の笹刈りを冬に行い効果の違いを観察してもよいのでは、という提案もありました。

樹林地の坂にはヤマユリが一輪咲いていました。去年は二輪の花がみられたのに残念ながら虫にでも食べられたせいでしょうか。NTTには二株三輪の花がみられたので来年を期待しましょう。東側樹林地は先月よりいっそう、チヂミザサがよく茂り、ヤブミョウガ・マンリョウ・ハエドクソウの花も咲いていました。花の図鑑づくりに一歩ずつ近づいた感があります。



ヤブミョウガの花が
咲き誇り



マンリョウの白い花も

2班にわかれて方形枠調査を行いました。根本さんからは、調査も継続すると要領よくなり驚いたとのコメントもありましたが、マテバシイを伐採して3年目になって生えてきた草草の青々とした様子は想像どおりにしろうれしい結果になっています。8月は、階段の補修作業の続きと西側樹林地のマップづくりを行う予定です。

〔安部〕

ちょうふ DE 田んぼ日記 その15

水の無い田んぼのイネは大丈夫？

東北、北陸では集中豪雨に見舞われましたが、一方関東では連日40度近い猛暑。田んぼの学校に入学して3年目ですが、初めて田んぼは危機的状況を迎えています。冬から春にかけてほとんど雨が降らなかった今年。お百姓さんが言っていたとおり佐須は水不足にみまわれ、田んぼは水が干上がり大きな地割れ状態です。稲は今のところ元気に分結し育っていますが、8月に開花してくれるかどうかとても心配です。

7月に予定していた生き物観察もできず、田植えの後に姿を見せていたハウネンエビ、オタマジャクシやゲンゴロウもどこへやら。幸いにも佐須用水の水のあるところではミクリが花を咲かせ、実をつけています。時折見かけるホトケドジョウの成長も今一歩かな。



「米はつくるのでなく、米がとれるんだよ」とお百姓さんが表現するほど、稲作は自然の恵みである土と水と陽の光に依存していますが、そのひとつでもバランスが崩れるとこれほど影響が大きいのだと改めて痛感させられます。受講生の皆さん、そろそろ雨乞いの準備をお願いします。田んぼの稲の上空ではすでにアキアカネが気持ちよさそうにすいすい飛んでいます。

(田んぼの学校 中原)



環境モニター

7月3日(土) 晴れ 10:00~
参加10名(講師及び職員含む)

講師を招き多摩川左岸二ヶ領上河原堰堤防法面の植物調査を行った。植物の種名と、標本の作成について解説して頂いた。終了後に希望者と講師で復習観察会を行い、見きれなかった植物、もう一度確認したい植物を観察、記録した。



カワライサイコ

1. 多摩川の様子

- ・しばらく晴天が続いたため、ワンドの水は出入りがなく濁っていた。
- ・コマチグモの仲間の巣がオギなどに多く見られた。うっかり葉を開いて噛まれないよう要注意。
- ・ワンド付近の河川敷(高水敷)の草が刈られていた。(花火大会の準備のためか)
- ・先月ワンドで確認したホテイアオイは、ワンドの水量が減って土に根をはっていた。

2. 植物調査について

- ・約40種の植物を確認できた。
- ・「土手の植物」として典型的なヤマヌカボ、カニツリクサなどが確認できた。近年土手に工事が入らず、継続的な草刈りなどの管理がされていることにより、この環境があるとのこと。比較的めずらしいクララがあることも「良い土手」と言える一因。

3. 不明な植物を後で確認するには標本を作るのが良いとのこと、次回以降標本作りを活動予定に入れることも考える。

雑木林塾自主活動

7/24(土) たづくり12階にて今年度のプログラムについて話し合い
参加者 7名

今年で4年目となる雑木林塾。塾の目的・在り方が議題に上っており、そのことをふまえた上での話し合いとなった。塾の目的は市内の樹林に関わる人を育てること、そして市内の樹林の保全を継続的にこなっていくことが確認され、これを念頭に置いて今後の活動内容を決めていくことになった。



今回は今まで3年間分のプログラムを洗い出し参考にしながら新たに基本的なプログラムを決めた。9月から月1回、全6回の講座は昨年までと同じ。また講師の先生には6回通しで来ていただくこととした。基本的にはカニヤマで実施、状況に応じて他のフィールドも使用。自主活動のやり方も含め詳しくは今後講師の先生と話し合っ決めていくことになった。

リレーエッセイ (保全課職員)

久しぶりに原稿を書くことになりました小豆畑です。今回は環境保全課の自然環境に係る事業の形成過程に触れてみたいと思います。平成7年度に市民とともに当時の公園環境課が「佐須用水の保全についての勉強会」を非公式に立ち上げたことが始まりです。勉強会では保全に関するレポートを作成し、翌年の「調布市水辺環境保全基本構想」に反映させています。同時に「調布市自然環境の保全等に関する条例」が制定されています。その後、全般的な市の自然環境を保全する施策を体系的に構築するための「調布市自然環境保全計画」を策定しています。この計画は皆さんも良くご存知の方々に策定委員をお願いし、現在、皆様が活動されている殆どの事業が提起され、作成過程で調布の二次的自然、特に雑木林の存在がクローズアップされることになりました。振り返って見るともう歴史になりかかっているのかもしれない。

イベント情報

環境モニター

日時：8月7日(土)10:00～

場所：多摩川市民広場上土手

内容：気になる植物を採取した後、たづくりにて標本作り

持ち物：新聞紙・スコップ・軍手・飲み物・ループ等

人間樹林の会

日時：8月22日(日)9:30～

場所：人間地域福祉センター

内容：西側樹林地のマップ作り、階段の補修等

持ち物：軍手・作業服・飲み物・

このニュースレターは市のHPでカラー版で見られます

運営委員会からのお知らせ

コンパネの周りを木の枝で飾って作成することになりました。ご都合のつく方はご協力お願いします。作成日程は以下です。

9月5日(日)10時より

掲示板作成作業

市役所1階駐車場

ニュースレターの新タイトルは今まで出たアイディアを合わせ、「ちょうふ環境市民懇談会からのお知らせ ちょうふの自然だより」となりました。

今年のセミは・・・

神代植物公園近くでは、7/11日にヒグラシの鳴き声を聞き、今年は早いなーと感じていました。それにひきかえ、アブラゼミは遅くここ数日前にやっと聞いたような気がします。ニニニゼミもこの暑さなら蝉時雨でうるさいくらいなのに、まださほどに感じません。猛暑が続いても、梅雨明けが早くても、土の中ではいつもの梅雨明け時期を待っていたのでしょうか？ (辻 市民懇談会メーリングリストより)

ちょうふ環境市民懇談会メーリングリストに参加しませんか？

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。問合せ・申込み:(尾辻)

kp5y-otj@asahi-net.or.jp

環境市民懇談会 連絡会議に参加してみませんか？

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみようかなと思っている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

【編集後記】

調布の花火、久しぶりに土手を降りる所まで行きました。最初の花火に驚いてカウウが大移動をしたとか。新選組イリュージョンとやらの新しい出し物もいい。隣の若者が「調布の花火ってなかなかじゃん！」と話していたのが嬉しかった。(K)

< 会議のスケジュール >

日時	場所	活動名/内容
8月5日(木) 18:30~20:30	たづくり 302会議室	環境市民懇談会 運営会議
8月30日(月) 18:30~20:30	市役所3階 環境部会議室	ニュースレター 編集、次号企画

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課
TEL：0424-81-7086

E-mail：kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会